

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第96回廃止措置分科会（R3SC） 議事録

1. 日時 2024年5月24日（金） 9:30-10:30
2. 場所：Web会議（Webex）
3. 出席者：岡本主査、目黒副主査、杉山幹事、石原、太田、工藤、小山、佐藤、鈴木、高橋、田村、鳥居、湊（仲田代理）、中村、西村、平井、見上
岡本主査委任：黒川
欠席：田中、青井
4. 配布資料
 - R3SC-96-1 人事案件
 - R3SC-96-2 第95回廃止措置分科会議事録（案）
 - R3SC-96-3-1 耐震安全技術レポートの審議状況
 - R3SC-96-3-2 “実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”耐震安全技術レポート概要“実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”耐震安全技術レポート概要
 - R3SC-96-3-3 耐震安全技術レポート完本（案）
5. 議事
 - (1) 一般事項
 - ① 委任を含め18名/20名の出席により分科会成立を確認した。
 - ② 人事案件 [R3SC-96-1]
今回は無し
 - ③ 次回分科会は、7月11日 9:30～（オンライン開催）
 - (2) 前回議事録確認 [R3SC-96-2]
特にコメントなし
 - (3) 耐震安全技術レポート[R3SC-96-3シリーズ]
 - 担当の委員から、資料R3SC-96-3-1により原子力安全検討会及び基盤応用・廃炉技術専門部会での審議状況（協議事項及び結果の概要）について説明された。
 - 担当の委員から、資料R3SC-96-3-2により第96回標準委員会（6月5日）への付議内容について説明された。
 - 担当の委員から、原子力安全検討会での協議事項のうち、“グレーデッドアプローチの適用”という結果の検証まで含めなければならないので“考え方の適用”とした方がよいとの意見が出されたことの補足説明があった。また、担当の委員から、本日配布の完本版では“グレーデッドアプローチの適用”のままになっており、最終報告に向けて修正予定であるとの説明があった。
 - 岡本主査から、分科会としての意思を明確にするため、本日提示の完本版に対

して30日間の書面投票を学会の投票システムが利用可となった時点から実施したいと伝えられ、委員の賛成多数により書面投票を行うことが可決された。

- 書面投票に関する学会事務局への確認結果は次のとおり。
 - 分科会では書面投票を義務付けておらず、挙手決議でよい。
 - コロナ禍により書面投票に代わってネット投票となっている。
 - 廃止措置分科会としては委員の意思確認のため、書面投票の様式を用い、書面を杉山幹事に電子メールする形式で投票を行うこととなった。

以上